キリマンジャロコーヒーを飲んで、ルカニ村の教育と森林を守ろう！

Drink Kilimanjaro Coffee to Secure Education and Forest at Lukani Village!

辻村英之（京都大学農学研究科）

タンザニア・キリマンジャロ山の西斜面にあるルカニ村。日本で高い人気をほこるキリマンジャロコーヒーの名産地です。村民は子供の教育費をかせぐためにコーヒーを育てます。そして直射日光を嫌うコーヒーの木は、森林の林木や村民の主食・バナナの木かげで育てられます。コーヒーのおかげで、子供と森林が育まれてきたと言えます。

しかし90年代以降、コーヒー価格の低迷が目立つようになりました。特に2001～02年の史上最安値「コーヒー危機」を契機に、街へ移住する若者が増えました。村に残った農民も､逆に直射日光を求めるトウモロコシに転作し､あるいは林木を過剰に販売し、コーヒーに代わる現金収入源としました。コーヒーや教育の危機にとどまらず、森林破壊まで進んでしまったのです。

私たちは、これらの危機から脱するルカニ村民の努力を支えるため、2001年に「ルカニ村・フェアトレード・プロジェクト(Fair Trade Project for Lukani Villagers: FTPLukani)」をはじめました。

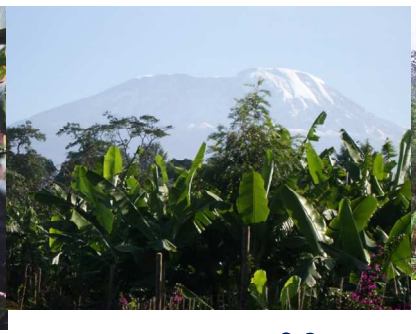
FTPLukaniは現在、171cents/poundの最低（輸出）価格を保障しております。「コーヒー危機」で半減してしまったコーヒーの木の数を元に戻せば、２人の子供が中学に通える価格水準です。さらに23cents/poundのフェアトレード・プレミアム（産地の社会開発のための還元金）を支払い、図書館・中学校の建設、保育園の教材購入、コーヒー加工場・苗木場の整備、新品種の苗木普及などを促しております。

日本において、このフェアトレード・キリマンジャロコーヒーの販売を担ってくれるのは、京都・福岡を拠点とするコーヒー焙煎業者・キョーワズ珈琲、そして京都、大阪、北九州、名古屋、神戸などの複数の自家焙煎店です。少し高めのコーヒーですが、好評を得ている甘酸っぱい香味に対して、さらに新たな品質（ルカニ村民の生活（特に教育と森林）を守ることができる特性）が上乗せされているとご理解いただき、消費者の皆さまに買い支えていただければ幸いです。

また私たちは、JATA ツアーズ、関西・南部アフリカネットワーク、マイチケットなどが築き上げたルカニ村民との民衆交流を、さらに深化させようと試みております。2009年からはじまったコーヒー・スタディツアーにより、ルカニ村にしばらく滞在して村民とふれ合えば、おのずと支え合いたい（毎日の食卓に欠かせないコーヒーを供給してくれる生産者を買い支えたい）という気持ちが、芽生えると考えております。

＊焙煎業者による生豆の購入については、キョーワズ珈琲(m-okada@kyowas.co.jp)にご連絡ください。また消費者による焙煎豆の購入については、下記のプロジェクトのホームページに販売店をまとめてありますが、特にキョーワズ珈琲・ホームページの（http://www.kyowas.co.jp/)のオンラインショップ（「キリマンジャロ・ルカニアラビカ」)が便利です。スタディツアーについては､マイチケット(http://www.myticket.jp/)にご連絡ください。

＊ルカニ村・フェアトレード・プロジェクト
606-8502　京都市左京区北白川追分町 京都大学農学研究科 辻村研究室内
E-mail : tsunji@hotmail.co.jp　URL : http://homepage2.nifty.com/tsunji/



キリマンジャロコーヒーを飲んで ルカニ村の教育と森林を守ろう！

Drink Kilimanjaro Coffee to Secure Education and Forest at Lukani Village!